



ガジユマル

多世代交流と運動の習慣化をサポートする公園内施設の提案

櫻井杏実

現状・課題

寝たきり大国の日本・・・

体が動かない時間・誰かの世話になる時間が世界一長い国なのが現状です。

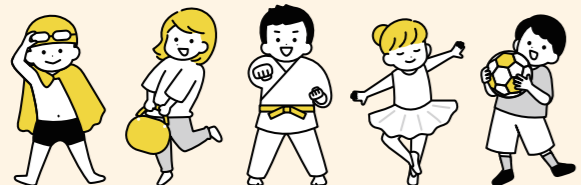
健康寿命を延ばし、できる限り日常生活に制限なく生活を続けられるようにすることが課題です。

『多世代の方の運動する習慣をつける』『ロコモ予防の情報発信をする』場をつくる

既存の公園内にコンビニと動物保護施設を取り入れ、交流の場をきっかけに幼少期から運動の習慣をつけることや、高齢者を含む全世代の健康寿命を延ばすことを目指す。

ロコモ予防！！

運動器は、普段の生活で身体を動かして負荷をかけて維持されます。若い頃から適度に運動する習慣をつけ、運動器を大事に使い続けることが不可欠です。



健康寿命UP！！

要支援・要介護になる前から、運動器の問題で日常生活が制限されている状態を改善でき、平均寿命と健康寿命の差を短縮されます。



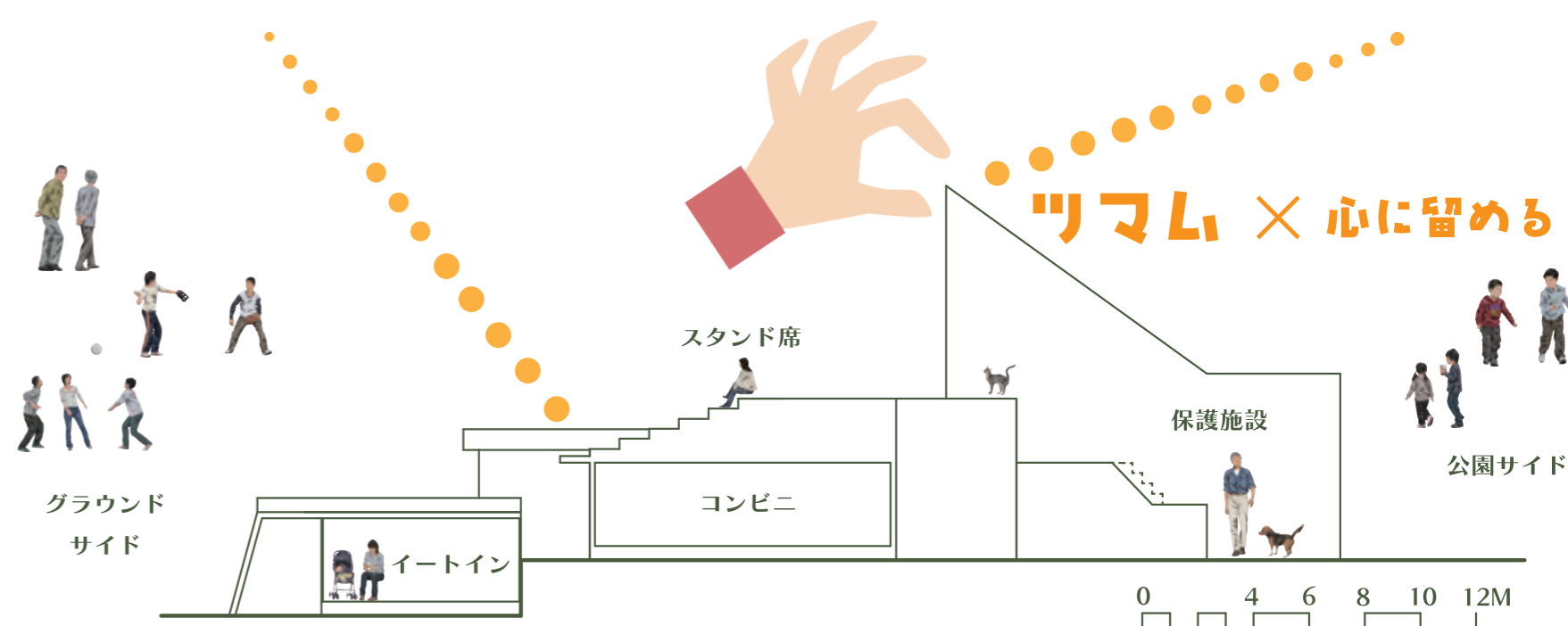
断面計画

いるだけで運動になるステップ空間

階段は便利な筋トレツールです。まずはこの施設内に訪れるだけで運動習慣の第一歩に！

角張ったつまみになるデザイン

目的の用途以外に、違う何かを初めてみるようと思わせるつまみになるカタチで表現



対象地・周辺環境

神奈川県 海老名市 北部公園
海老名市内の最も高齢者人口が多い地域である 相鉄線 かしわ台駅から徒歩5分
「上今泉」「東柏ヶ谷」「国分北」付近 敷地面積 22,972㎡



ダイアグラム1

心に残る景色・記憶

交流や運動のきっかけ

動物保護施設

イトインスペース

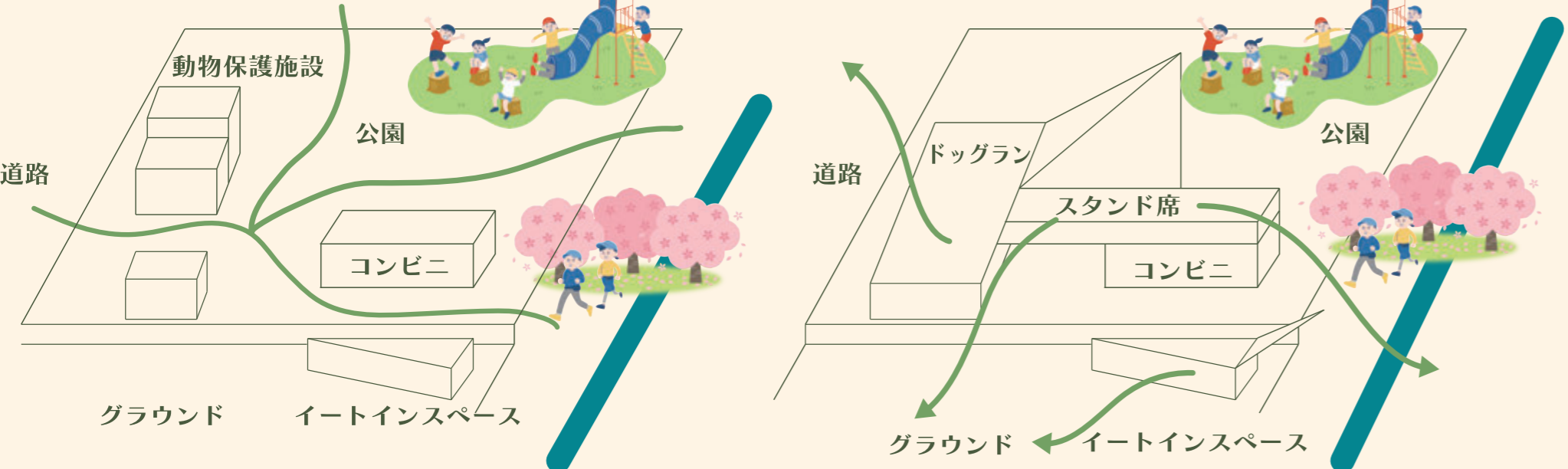


ガジユマルの太い幹から伸びる根の様に、保護施設・コンビニ・イトインスペースを配置。

ダイアグラム2

人の流れが交わる根っこエリア
重要な機能の関係性を考察

viewが楽しい葉っぱのエリア
交流・発見・気づき生まれる



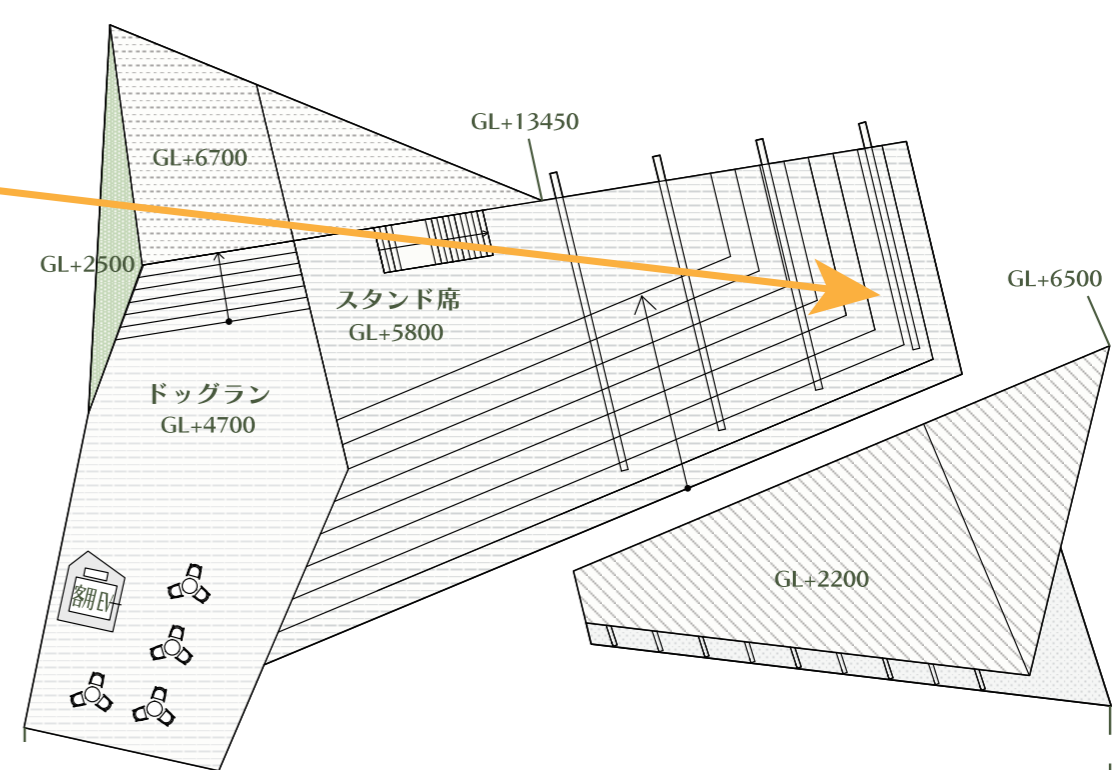
平面計画



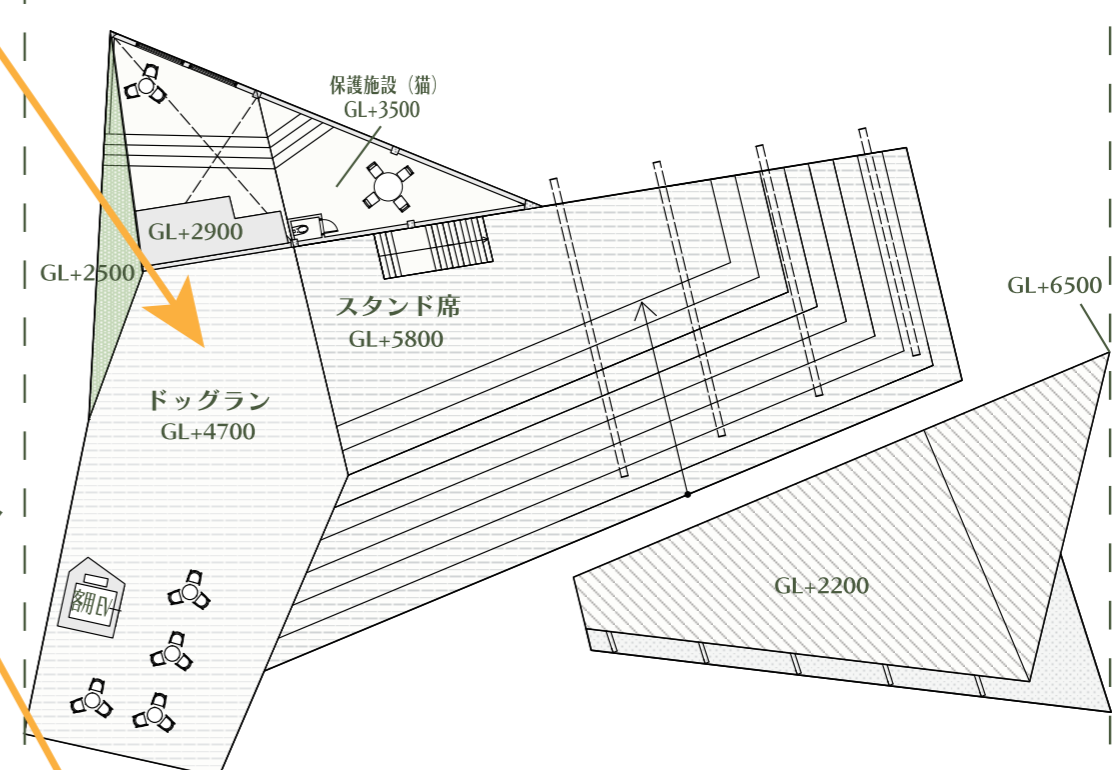
お世話やお散歩のボランティアだけではなくドッグランも配置し、気軽に触れ合える



グラウンドの様子を眺められるイトインスペース
・スポーツやボランティアの休憩時間に
・習い事の待ち時間やお子さんの見守り
・健康に関するセミナー開催
・ちょっとしたお茶会に
多世代が多目的に利用される

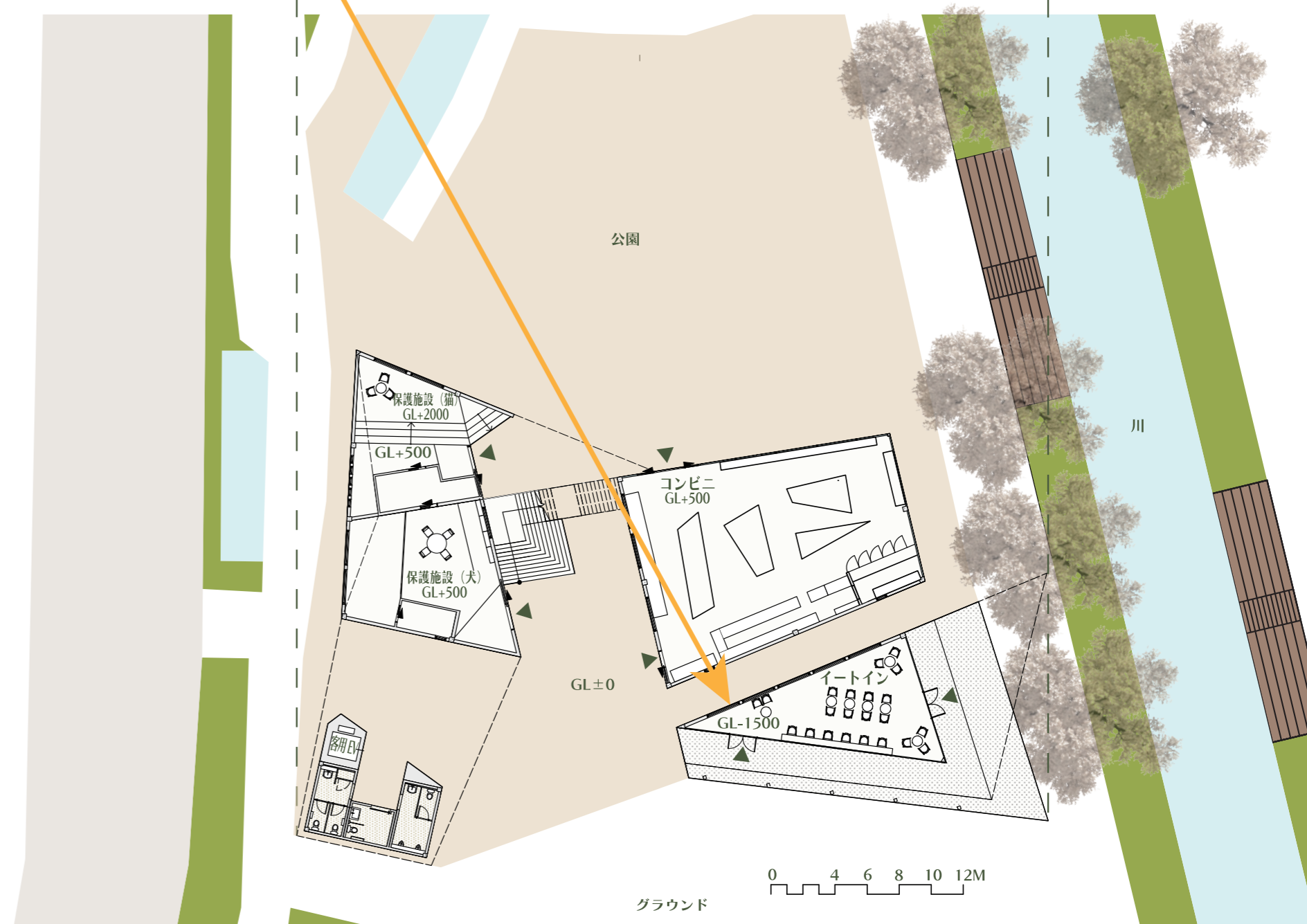


3F



2F

1F



グラウンド GL-2000



模型 全景写真